

# 効率的に「同じ形状を連続して 配置・編集する」方法

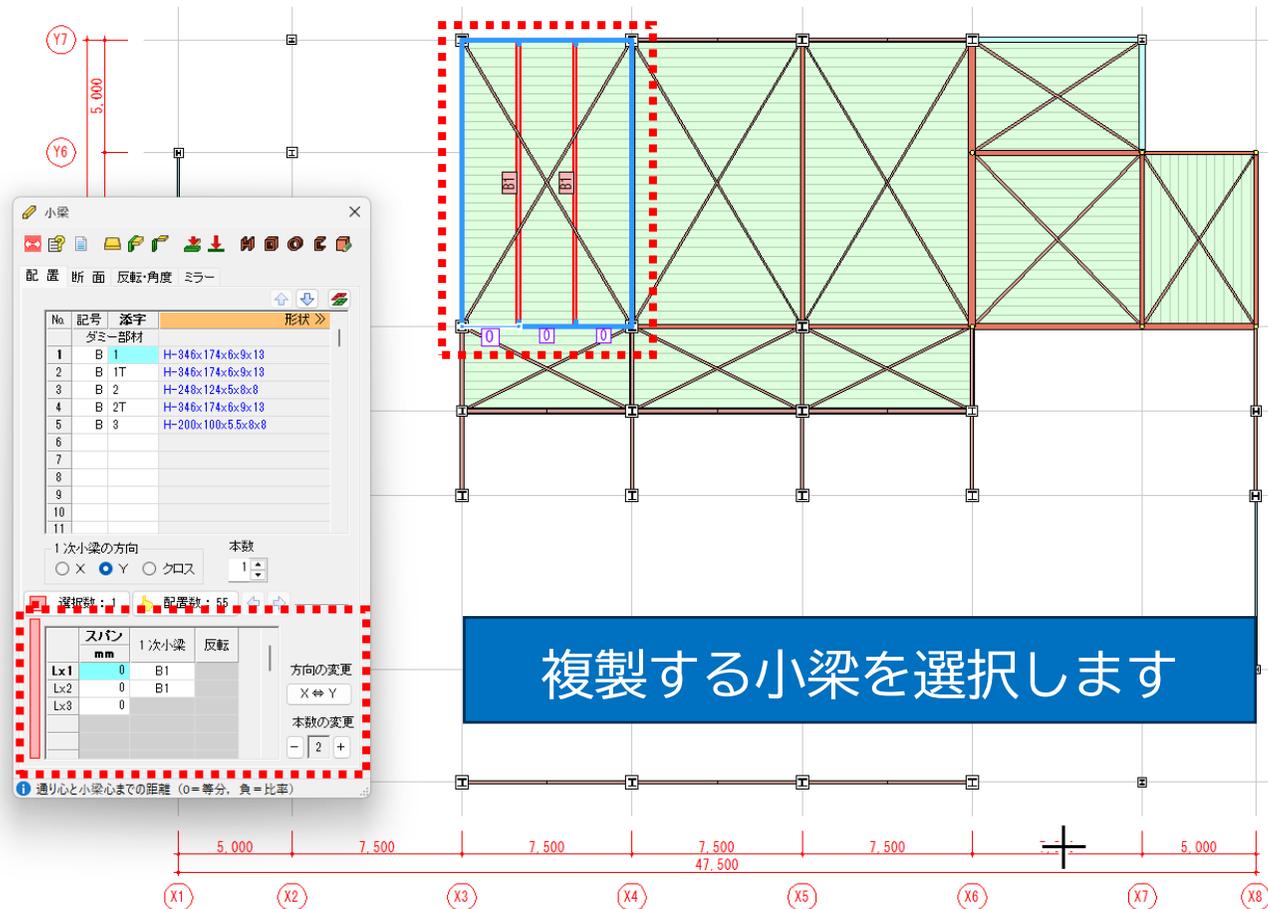
---

『Super Build/SS7』  
ユニオンシステム株式会社  
2026/02/01

# はじめに

- これから説明する内容は、「部材配置」や「建物特殊形状」の各種パラメータをコピー&ペーストする場合に便利な操作方法です。
- [Shift]キー + 左クリック or 範囲選択の操作で、同じ符号・パラメータで連続配置・編集を行うことができます。
- コピー&ペースト (Ctrl+C→Ctrl+Vなど) と比較して、効率的にモデル入力・編集が可能です。

# [7.10. 小梁－配置] の例



# 入力項目 [7.10.小梁－配置] の例

Y7  
5,000  
Y6

小梁

配置 断面 反転・角度 ミラー

No.	記号	添字	形状
1	B	1	H-346x174x6x9x13
2	B	1T	H-346x174x6x9x13
3	B	2	H-248x124x5x8x8
4	B	2T	H-346x174x6x9x13
5	B	3	H-200x100x5.5x8x8
6			
7			
8			
9			
10			
11			

1次小梁の方向 本数

X  Y  クロス 1

選択数: 1 配置数: 55

スパン mm	1次小梁	反転	方向の変更 X ⇄ Y	本数の変更 - 2 +
Lx1 0	B1		<input type="checkbox"/>	
Lx2 0	B1		<input type="checkbox"/>	
Lx3 0			<input type="checkbox"/>	

① 通り心と小梁心までの距離 (0=等分, 負=比率)

5,000 7,500 7,500 7,500 7,500 7,500 7,500 5,000

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8

配置したい床にマウスポインターを移動し、  
[Shift]キー+左クリック

# 入力項目 [7.10.小梁－配置] の例

The image shows a software interface for configuring beams in a structural model. On the left, a dialog box titled '小梁' (Beams) is open, displaying a list of beam properties and a 'Span' table. The 'Span' table is highlighted with a red dashed box. The table has columns for 'スパン mm' (Span mm), '1次小梁' (Primary Beam), and '反転' (Invert). The rows are labeled Lx1, Lx2, and Lx3.

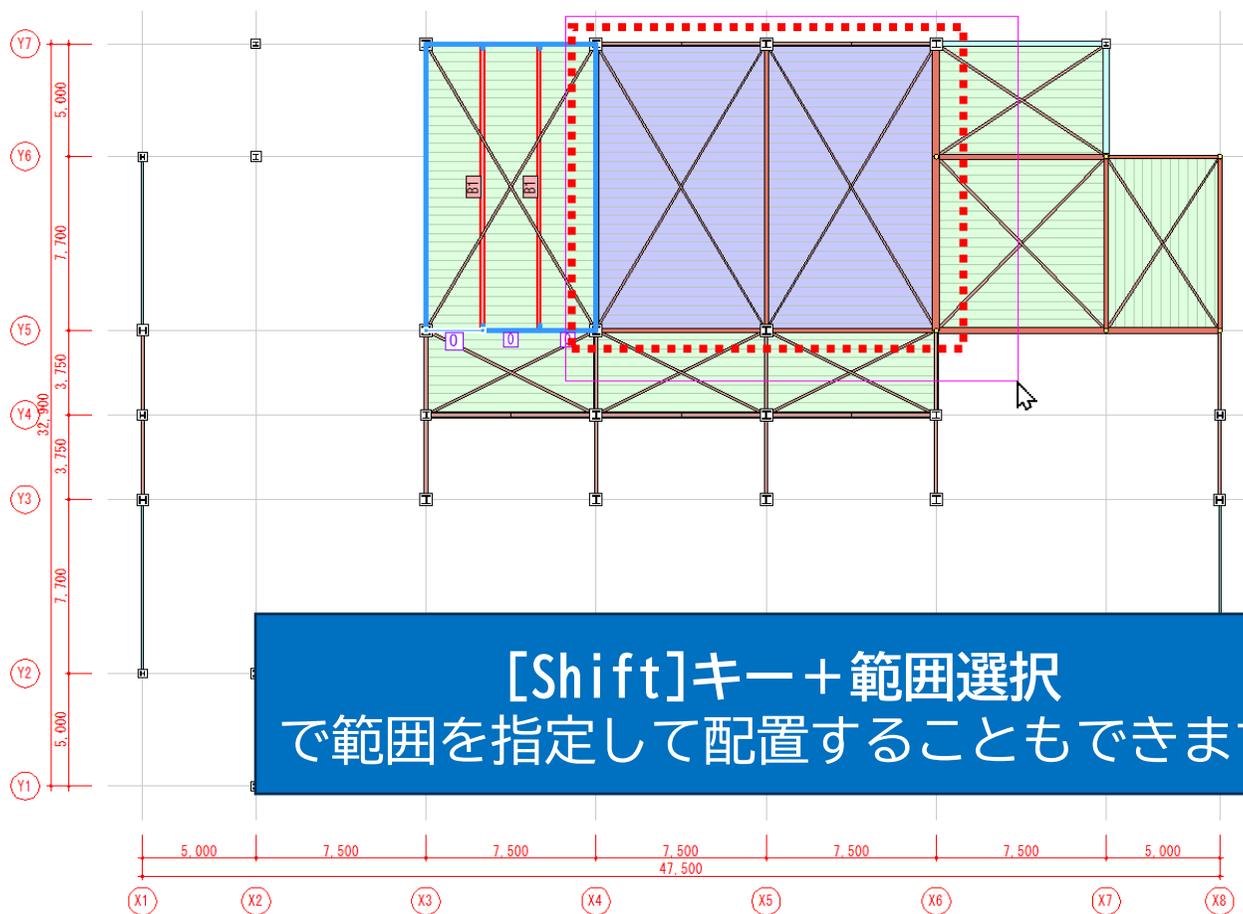
スパン mm	1次小梁	反転
Lx1 0	B1	
Lx2 0	B1	
Lx3 0		

Below the table, there are controls for '方向の変更' (Change direction) with a radio button for 'X ↔ Y' and '本数の変更' (Change quantity) with a spinner set to '2'. A note at the bottom indicates '通り心と小梁心までの距離 (0=等分, 負=比率)' (Distance between center of passage and center of beam (0=equal division, negative=ratio)).

On the right, a structural grid is shown with beams. A red dashed box highlights a section of the grid where beams are being configured. A blue box at the bottom right contains the text: '選択していた小梁と同じパラメータで小梁が配置されます' (Beams are configured with the same parameters as the selected beams).

The grid has vertical axis labels Y6 and Y7, and horizontal axis labels X1 through X8. Dimensions are shown at the bottom: 5,000, 7,500, 7,500, 7,500, 7,500, 7,500, 7,500, 5,000, and a total of 47,500.

# 入力項目 [7.10.小梁－配置] の例



# 入力項目 [7.10.小梁－配置] の例

The image displays a software interface for configuring beams in a structural model. The main view shows a grid with beams and a dialog box for beam configuration. The dialog box includes a table for beam properties and a table for span settings.

**小梁 (Beam) Properties Table:**

No.	記号	添字	形状
1	B	1	H-346×174×6×9×13
2	B	1T	H-346×174×6×9×13
3	B	2	H-248×124×5×8×8
4	B	2T	H-346×174×6×9×13
5	B	3	H-200×100×5.5×8×8
6			
7			
8			
9			
10			
11			

**Span Settings Table:**

スパン (mm)	1次小梁	反転
Lx1	0	B1
Lx2	0	B1
Lx3	0	

**Span Settings:** 方向の変更 (X ↔ Y), 本数の変更 (- 2 +)

**Grid Dimensions:** Y6 to Y7: 5,000. X1 to X8: 5,000, 7,500, 7,500, 7,500, 7,500, 7,500, 7,500, 5,000. Total: 47,500.

**Text:** 同様に小梁が配置されます

# 入力項目 [7.2. 大梁－配置－ジョイント] の例

配置断面設定

符号 反転 行

ジョイント 一本部材

L [mm]	
左端	右端
600	600

◆ [12.3. ジョイント位置 (標準)] で指定した継手位置と異なる場合に指定します。

◆ 青色のデータまたは橙色の標準値は [12.3. ジョイント位置 (標準)] によります。

ジョイント位置を複製する大梁を選択します



# 入力項目 [7.2. 大梁－配置－ジョイント] の例

大梁

配置断面設定

符号 反転 消す

ジョイント 一本部材

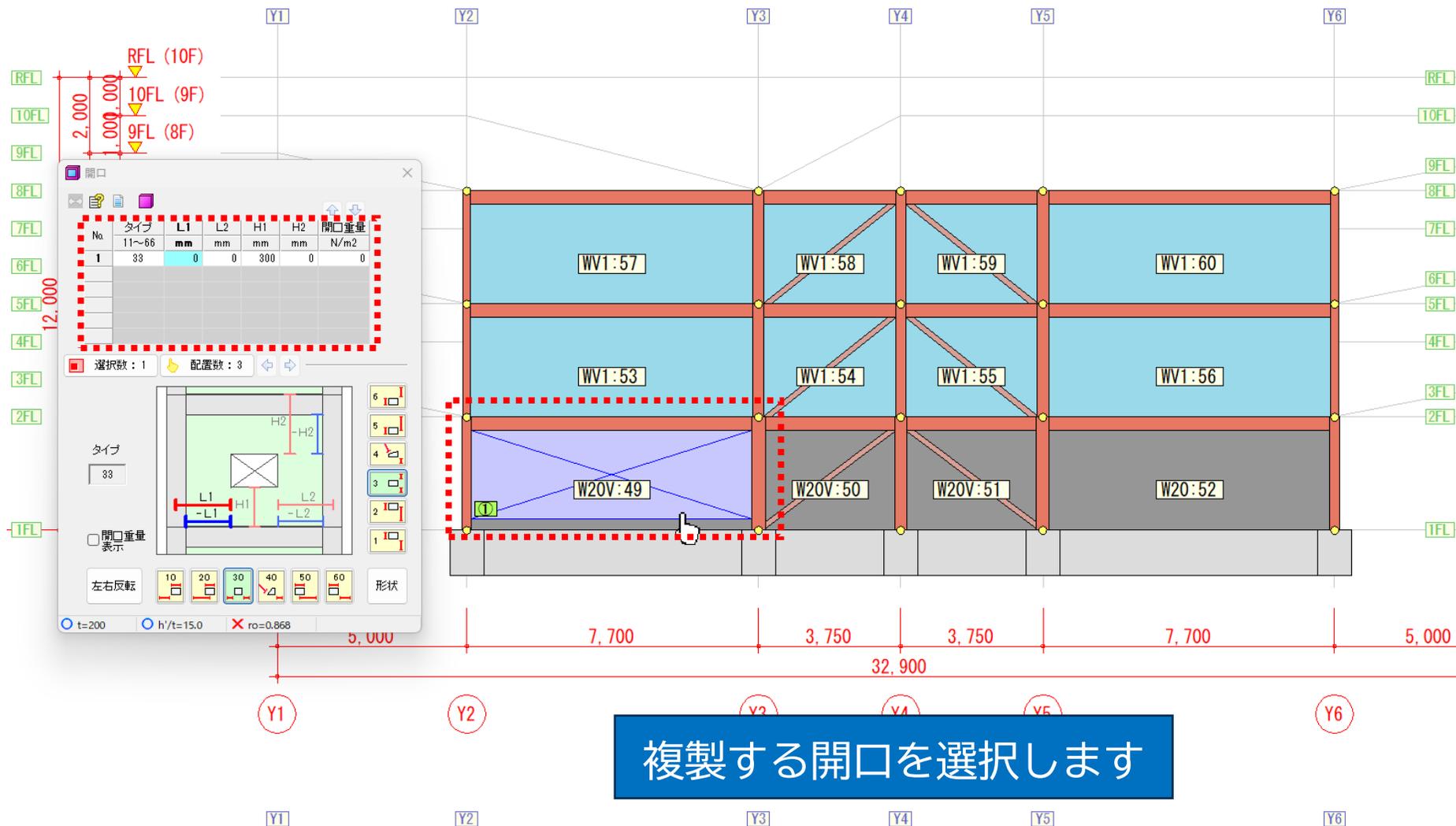
L [mm]	
左端	右端
600	600

◆ [12.3. ジョイント位置 (標準)] で指定した推手位置と異なる場合に指定します。

◆ 青色のデータまたは橙色の標準値は [12.3. ジョイント位置 (標準)] によります。

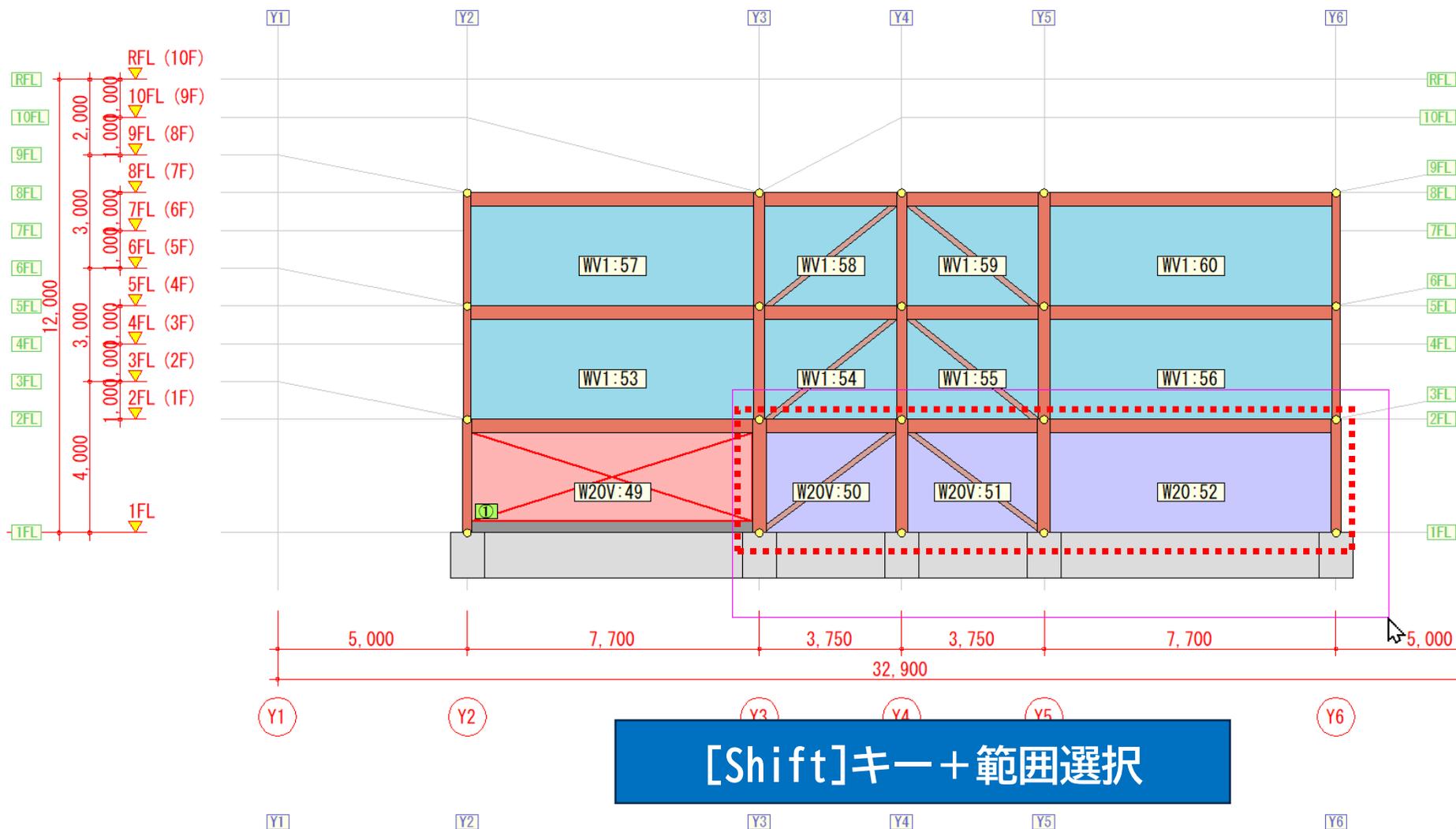
選択していた大梁のジョイント位置が反映されます

# 入力項目 [7.4. 開口] の例



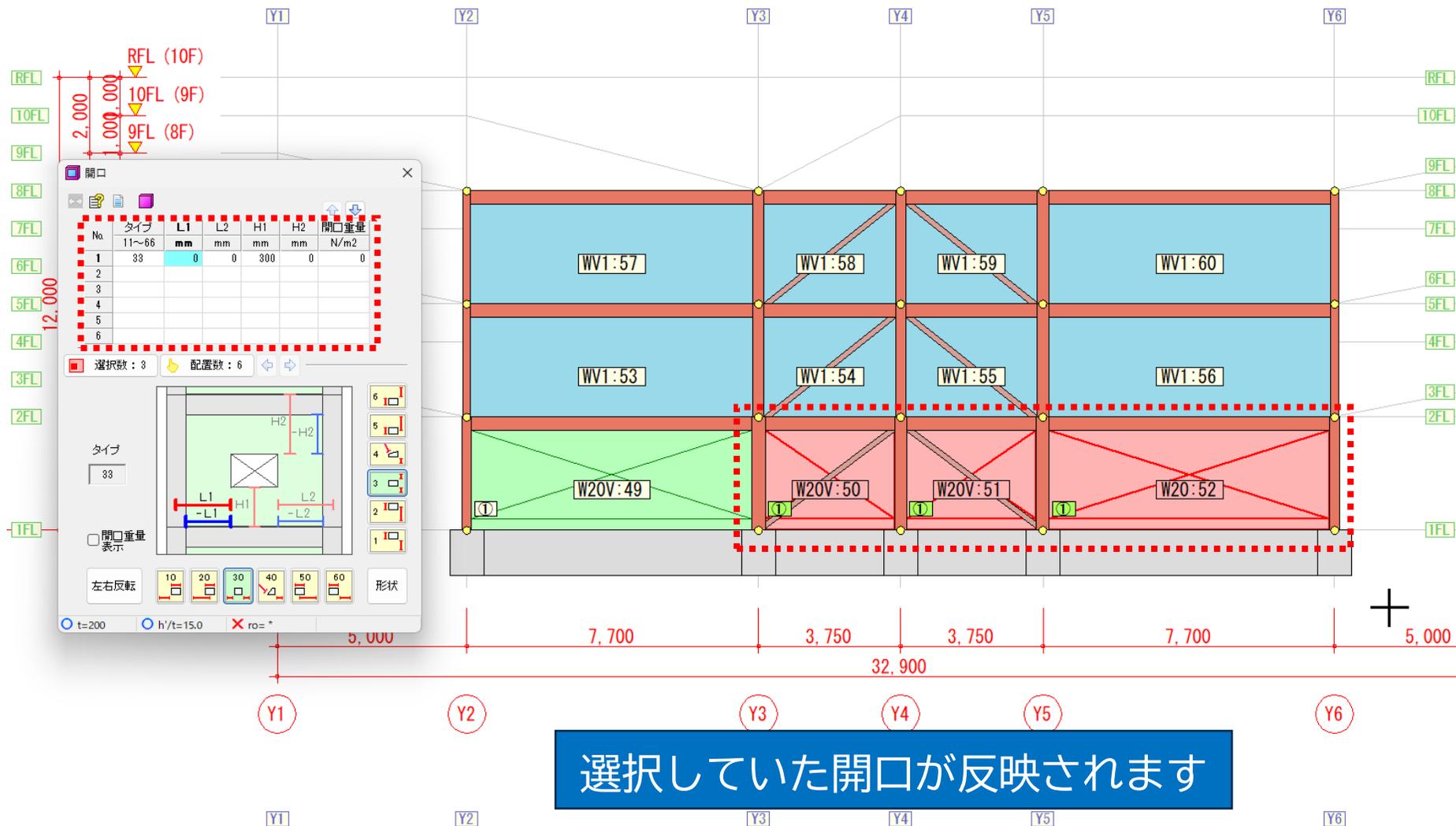
効率的に「同じ形状を連続して配置・編集する」方法

# 入力項目 [7.4. 開口] の例



効率的に「同じ形状を連続して配置・編集する」方法

# 入力項目 [7.4. 開口] の例



# 「同じ形状を連続して配置する」の例外

形状や配置の異なる複数の部材を選択している場合は、この操作は無効です

例) 1次小梁と2次小梁を同時に選択している

No.	記号	添字	形状
1	B	1	H-346x174x6x9x13
2	B	1T	H-346x174x6x9x13
3	B	2	H-248x124x5x8x8
4	B	2T	H-346x174x6x9x13
5	B	3	H-200x100x5.5x8x8
6			

1次小梁の方向  
 X  Y  クロス

本数: 1

選択数: 4 配置数: \*

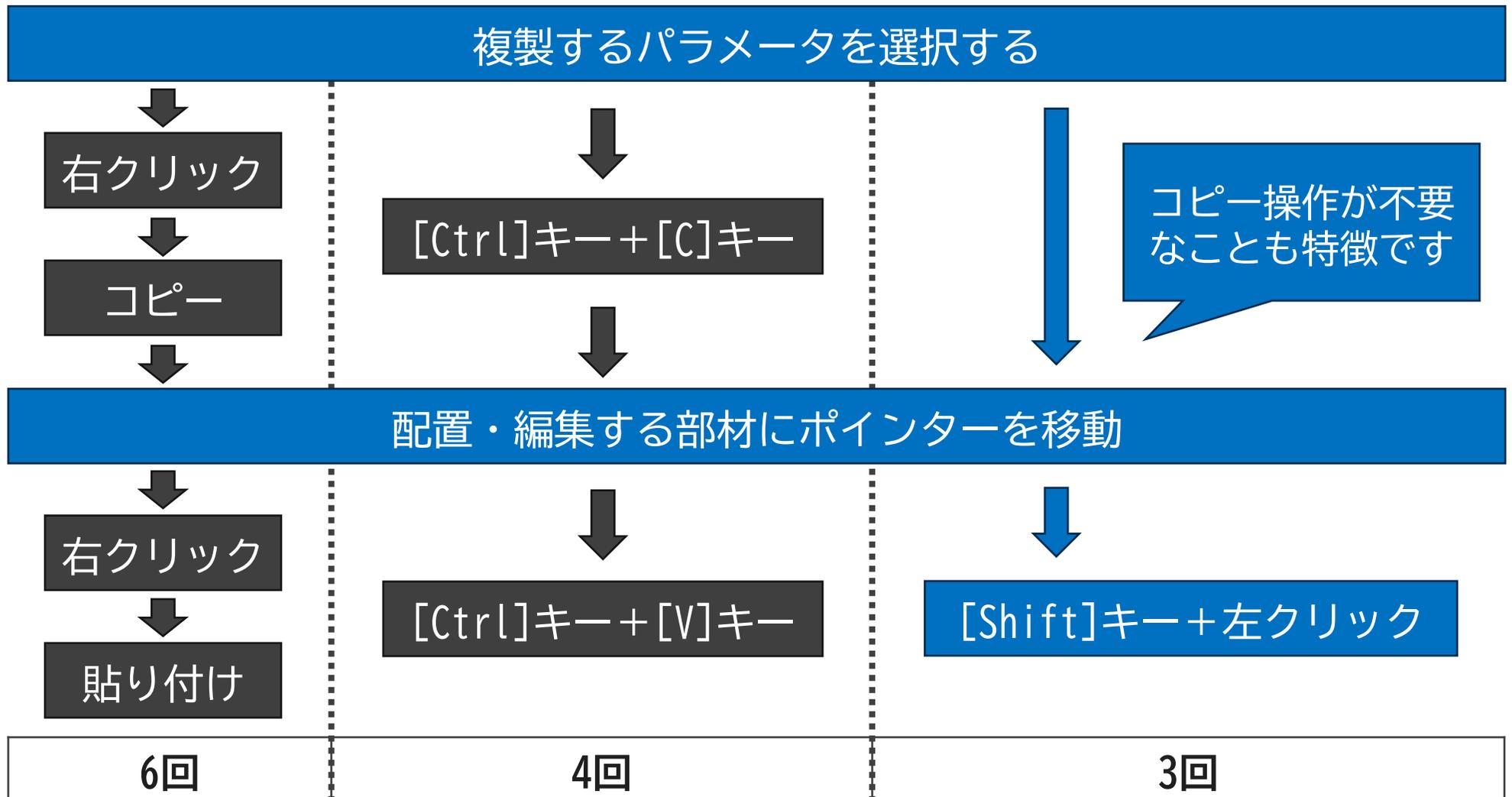
スパン	小梁	反転
mm		

方向の変更  
X ↔ Y

本数の変更  
- +

小梁のスパンは配置後に指定します。

# コピー & ペーストとの操作数の比較



# 利用可能な項目一覧

[Shift]キー+左クリック or [Shift]キー+範囲選択 が  
利用可能な入力項目を一覧表にて示します。 (※ Ver.1.1.21.1 時点)

入力項目	
3.1. 節点移動 (軸振れ)	
3.2. セットバック	セットバック、大梁の平行移動
3.3. 節点上下移動	
3.6. 柱の回転	
3.7. 部材の寄り	
3.8. 梁のレベル調整	
5.7. 風力係数の直接入力	壁、床

# 利用可能な項目一覧

入力項目	
7.1. 柱（柱脚）	配置
7.2. 大梁	配置
7.3. 壁（スリット）	配置、スリット、重量の扱い、耐震壁
7.4. 開口	
7.5. 鉛直ブレース	配置、偏心距離
7.6. 外部袖壁	配置、傾き、重量の扱い
7.7. パラペット	配置、傾き
7.8. フレーム外雑壁	配置、重量の考慮、重量の扱い、水平剛性
7.9. 片持梁	配置、傾き

# 利用可能な項目一覧

入力項目	
7.10. 小梁	配置、反転・角度、ミラー
7.11. 床	配置、角度、屋根面
7.12. 片持床	配置、傾き・優先度、角度、屋根面
7.13. 出隅床	配置、傾き、角度、屋根面
7.14. 水平ブレース	配置
7.16. 木造接合部	柱、梁
8.1. 特殊荷重	梁、床
8.2. 節点補正重量	節点
8.6. 特殊応力	初期張力、温度応力、不静定応力

# 利用可能な項目一覧

入力項目	
8.7. 応力計算用特殊荷重	各ケース、各項目
9.1. 結合状態	柱、梁
10.1. 支点の状態	
10.2. 剛床仮定の解除	
10.3. 多剛床の指定	
13.2. 杭基礎・独立基礎	配置
13.3. 布基礎	配置
13.5. 基礎の寄り	
13.9. フレーム外杭	配置、軸力、水平力

# 利用可能な項目一覧

入力項目	
17.2. 支承材	配置、Qh、回転
17.3. 減衰材（節点配置）	配置、Qh、回転
17.4. 減衰材（大梁配置）	配置、Qh
17.5. 免震部材の寄り	

# まとめ

- 同じ形状を連続して連続して配置・編集する場合に効率的な操作方法を紹介しました。
- **[Shift]+左クリック、範囲選択**を行うことで、コピー&ペーストを用いずに配置・編集することが可能です。
- 例外として、形状の異なる複数の形状への操作は無効ですので、必要に応じてコピー&ペーストと使い分けてください。